

# 手話狂言発表会

「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」で、手話狂言ワークショップを開き、その成果を矢来能楽堂で発表することになりました。どうぞご覧ください。

出演

秋吉 美咲  
今井 人夢  
王 秋杰  
亀井 悠  
高田 航平  
田邊 優  
寺澤 茉那  
中園 梢  
成塚 元香  
森岡 見帆  
守屋 水結  
矢下 かのん

(五十音順)

演出・指導

三宅近成

日本ろう者劇団

監修

三宅狂言会

— 番組 —



## ◆ 梟山伏 (ふくろうやまぶし)

山から帰った弟の太郎は、物(もの)の怪(け)がついて意識不明の様子です。兄は、かねて知合いの山伏に、祈禱を頼みに行きます。もったいぶって現われた山伏は、兄の頼みを聞くことさうなく兄弟の家に赴きます。山伏が弟の容態を見て祈禱を始めると、弟は奇妙な声を発します。兄の話によると、弟は山で梟の巢をおろしたそうです。どうやら物の怪の正体は梟らしいとわかりました。山伏は威勢よく祈り続けますが……。(字幕あり)

## ◆ 口真似 (くちまね)

主人は、ある人から樽・肴をもらったので、ひとりて賞味するのも味気ないと思い、太郎冠者に、だれか適当な招待客をさがしてこいと言いつけます。太郎冠者は上の町のある男を思い出し、彼を誘うことにしました。さうそく彼の家に行き、主人の意向を伝えます。男は「あなたの御主人とは交際がないから」と断りますが、太郎冠者はぜひひとと頼み、強引に連れてもどります。主人が客はだれかと見ると、それは酒癖の悪いことで有名な男でした。しかし、いままさら追い返すわけにもいかず、適当にもてなして帰すことにします。そして、あいたに立つ太郎冠者が接待の上で失敗しないように、何でも自分の言うとおりにするとおりに真似をせよと言いつくめておき、男を座敷に迎えるのです……。(字幕あり)

## ◆ 成上り (なりあがり)

新年はじめての寅の日です。主人は太郎冠者をつれて、鞍馬寺へお籠もりしました。太郎冠者は主人の太刀をあずかっていたが、眠っている隙に、都のすげ(悪者)が、青竹とすり替えて太刀を持ち逃げします。翌朝、目をさました太郎冠者は、太刀がいつの間にか青竹に変わっているのに驚きますが、それを隠し持つて帰る道中、山芋が鱈に、蛙がかぶと虫に、燕が飛魚に、嫁が姑に変身(う)する(こと)を、世間では「成り上がる」と言い、また、熊野の別当の太刀は他人にはクチナワ(蛇)のように見えたという話をしておいてから、ご主人の太刀もこのように青竹に成り上がりましたとこまかしますが、そこへ昨夜のすげは現れます。(字幕あり)

## ◆ 附子 (ぶす)

用事で外出する主人が、太郎冠者と次郎冠者に留守番を言いつけます。そして桶をさし出し、この中に附子があるから気をつけると言っておきます。附子とは、トリカブトという草の根から作った毒薬の名で、その方から吹く風に当たっても命を失うほどの猛毒だとの話です。主人の出かけたあと、二人は「こわいもの見たさに」附子に近づき、桶のふたをとって見ると、意外や、中には黒いドロリとした物が入っています。何やらうまそうなのも道理、じつは砂糖なのです。(字幕あり)

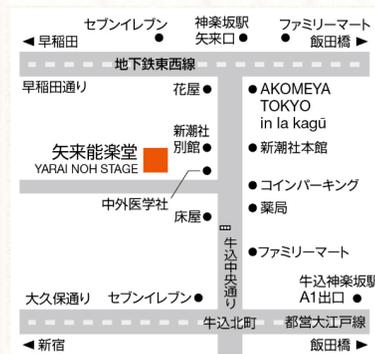
公益財団法人 観世九阜会  
矢来能楽堂

〒162-0805  
東京都新宿区矢来町 6 0

【電車】

東京メトロ東西線「神楽坂」駅  
2 番出口 (矢来口) より徒歩 2 分

都営地下鉄大江戸線「牛込神楽  
坂」駅 A1 出口より徒歩 5 分



## 【公演に関するお問合せ】

- 日本ろう者劇団  
TEL: 03-3779-0233  
FAX: 03-3779-0206  
Mail: jtd@japan.email.ne.jp
- 日本ろう者劇団ホームページ  
<http://www.totto.or.jp/>

入場無料  
全席自由

## 【お申し込み方法】

- QR コード  
右記にある QR コードを読み取り、観劇申し込みフォームからお申し込みください。



【予約 QR コード】

- FAX  
下記にある観劇申し込み書に記載の上、日本ろう者劇団までお申し込みください。

入場券はございません。当日お名前を確認いたします。

「第 7 回手話狂言発表会」観劇申し込み書(FAX用) FAX 03-3779-0206

お名前	人数	名
FAX・TEL	メールアドレス	